

管内には、コメツガ・トウヒ・ダケカンバ等からなる亜高山性の天然林を有し、木曾川源流の碑がある鉢盛山や、木曾ヒノキ・サワ



木曾川源流の碑

の源流域である烏帽子岳、鉢盛山、境峠、大笹沢山を連ねる稜線に囲まれた地域、約七、八〇〇畝の国有林野を管理しています。

■木曾森林管理署 藪原森林事務所  
首席森林官 井上 典子



国有林と言えば現場、現場と言えば森林官！しかし、一般の方には余り馴染がないと思います。そこで各地にある森林事務所や地域の特色、森林官の仕事などを紹介していきます。

加えて管内には、「やぶはら高原スキー場」があり、雪質の良さ

また国有林に隣接して、ロックフィルダムである味噌川ダムがあり、河川の水量調節や中京圏を含む下流域の生活・工業用水、発電等の機能を担っています。このダムの建設によりできた「奥木曾湖」は、ダム湖百選に選ばれ、遊歩道や展望台、カヌー体験の施設があり、四季折々の風景や自然を楽しむことができます。



ダム湖百選の奥木曾湖

ラなどの針葉樹とブナ・トチノキなどの広葉樹が自然に混交する貴重な森林である水木沢天然林といった緑と水に恵まれた見所があります。

現在、藪原森林事務所は、森林官、森林技術員、行政専門員二名の計四名体制で、生産・造林請負

管内の国有林野は人工林が約六割を占めており、間伐などの木材生産事業、森林の保育作業が主となる森林育成事業、森林資源への被害をもたらすニホンジカ等捕獲委託といった有害鳥獣対策事業などの各種業務を実施しています。

このように、木曾川源流の里として、レジャーや自然体験などのフィールドとして大都市である中京圏などからの関心が高い地にある国有林です。



やぶはら高原スキー場

から冬期シーズン中には多くのスキーヤーで賑わっています。

事業の監督、各種調査、境界巡検・巡視等の業務に従事しています。今年は、七月の記録的豪雨による林道被災の対応など、例年とは異なる事案が多々あり悩むことも多いのですが、管内に精通する森林技術員や行政専門員と相談しながら事業を進めるとともに、地元市町村からの要望や情報共有など、民有林とも連携を図りながら業務を行っています。

■未来の担い手へのメッセージ

自然相手の仕事なので、体力的に厳しい場面もあります。

しかし、それを忘れるくらいの達成感を得られる職場でもありません。過去から未来へ引き継がれる森林を一緒に育ててみませんか。



藪原森林事務所前にて左から2番目が森林官

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の林道や治山工事などを行う林業土木事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。

シリーズ  
「林業土木業界からの便り」

田中建設工業株式会社

小川 達矢

(二〇〇四年入社)



筆者（写真中央）

■事業の概要

請負事業・滝波谷（治山資材運搬

路）復旧治山工事

発注者・岐阜森林管理署

本工事は、関市板取滝波谷内に  
おいて、上流域の山腹崩壊地への

資材運搬路の設置工事です。  
今回の工事は既設林道（作業道）の拡幅工事及び新設の林道を設置します。  
施工延長が一・四キロメートル、土量（切土約一万二千立方メートル、補強土壁工二箇所と、土工事が主な仕事となります。



切土作業の様子

■現場での役割、魅力

私の役割は、現場代理人及び監理技術者として、発注者との打ち合わせや地元住民の方々への対応をはじめ、施工管理、安全管理、工程管理など現場の運営全般を行っています。

設計図面に基ついて施工するのはもちろんのことですが、現地において既設部分との摺り付け方

や、仮設工事の現場配置など、図面にない部分を自分の考えや、他の職員の意見を参考に施工して、問題なく工事が完了すると満足感を得ることが出来ます。

また、夏場などは都市部などの現場とは違い、日陰や谷に入れば天然のクーラーで涼むことができ、自然を感じる事ができることとは良いものだと思います。（虫は苦手です。）



伐採の終わった現場の様子

■林業土木の世界に

入ったきっかけ  
私がこの職業に就いたきっかけは、建設業に限らず、単にモノづくりに興味があったからです、建設業でいまの仕事を行っていく

内に様々な現場で受けた経験を次の現場で活かすことができた時に、自身の成長を感じることができたり、自然の凄さを体験することが出来るので、この世界に入って良かったと思っています。

■未来の担い手へのメッセージ

土木工事に対するイメージは3K「きつい・汚い・危険」などと言われていますが、新しい機械・技術の導入や職場環境の改善等により、若者が働きやすい環境が整備されてきています。（昔のような職人気質の人も減ってきています。）

同じ工種の仕事でも現場の条件によつては様々な方法で作業を進めていくこととなります。自身の考えだけでなく、みんなで考えた方法で作業を進め、完成させたときの達成感は大きなものがあります。

一人で作り上げることはできませんが、みんなで力を合わせることで作り上げることが出来ます。建設業という魅力溢れる職場で是非一緒に働きましょう。